

日本マイクロサージャリー学会会誌

投稿規定

1. 投稿資格

1) 本誌への投稿者は、本学会会員に限る。ただし、編集委員会が認めた場合はその限りではない。

また、全著者が論文内容について異議のないことに同意していること。ついては全著者より所定の同意書に自筆の署名を得る(同意書はホームページからダウンロードして、Eメールもしくはファックスにて送ること)。

2) 投稿は2014年6月よりオンラインに移行する。投稿規定にそわない原稿は返却、訂正をもとめる。

3) 論文は、他誌に未発表のものであり、他の著作権を侵害しないものに限る。なお、掲載後の論文の著作権は図表も含め本誌編集委員会に帰属する。ただし例外として他誌に発表されたものについて、異なる言語で書かれた論文など一定の要件を満たしたものに関しては二次出版を認める。

二次出版の内容は、「生医学雑誌への投稿のための統一規定」に準じ、「初版のデータおよび解釈を忠実に反映していること。」とする。

また二次出版のタイトルページに掲載される脚注において、その論文全体あるいは一部は過去に掲載されたことがあるという旨を告知し、初出文献に示すこと。適切な脚注例とは、「本論文は[雑誌名および詳細な書誌事項]にて最初に報告された研究に基づくものである」のようなものである。

なお二次出版投稿の際には、論文種別は【その他：二次出版】とし、著者は一次出版物、一次出版者の許諾書を提出すること。

4) 論文は著者の所属する施設の倫理綱領およびヘルシンキ宣言を遵守したものとす。個人が識別される症例の提示は、著者が患者のプライバシー保護の観点から十分な注意を払い、かつ責任を負うものとす。症例写真の十分な目隠しが困難な場合、および査読の段階で必要と判断されたものは、顔貌に限らず患者の掲載同意書を必ず取得すること。[外科関連学会協議会で採択された「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を参照すること]

5) 論文は、最新の『人を対象とする生命 科学・医学系研究に関する倫理指針』に留意すること。

6) ヒトを対象とした研究で、下記の「倫理承認が必要な研究」に該当するものは、原則として、所属機関の倫理審査委員会(又はこれに準じるもの)の承認を得たものであることを明記すること。下記の「特定臨床研究」に該

当すると所属機関の倫理審査委員会(又はこれに準じるもの)で判断されたものは、認定臨床研究審査委員会の承認が必要である。

7) 動物を対象とした研究では、原則として所属機関の動物実験委員会(又はこれに準じるもの)の承認を得たものであることを明記すること。

8) 編集過程で必要と判断された場合は、所属機関の倫理審査委員会もしくは動物実験委員会(又はこれらに準じるもの)の承認を求めることがある。

※倫理承認が必要な研究

・前向き臨床研究 [RCT, コホート研究, 症例集積研究(規模によらず) など]

・後ろ向き臨床研究 [中規模以上の症例集積研究(具体的な症例数等については、所属機関の倫理委員会又はこれに準じるものに問い合わせること)、横断研究など]

※倫理承認が必要でない研究

・ヒト由来試料を対象としない研究

・一般に入手できる(販売されている等)ヒト由来試料を対象とする研究

・一般に公開されているデータを元にした研究

・すでに出版されているデータを元にした研究(論文レビュー、メタアナリシスなど)

・小規模の症例集積研究* (具体的な症例数等については、所属機関の倫理審査委員会又はこれに準じるものに問い合わせること)

・症例報告

※特定臨床研究(『臨床研究法』より抜粋)

臨床研究のうち、次のいずれかに該当するものをいう。

・医薬品等製造販売業者又はその特殊関係者から研究資金等の提供を受けて実施する当該販売業者等の医薬品等の臨床研究

・医薬品医療機器等法における未承認の医薬品等又は適応外の医薬品等の臨床研究

9) 利益相反について：本文の最後に利益相反の有無を明記する。

利益相反がある場合は、「日本マイクロサージャリー学会会誌：自己申告による利益相反報告書」を日本マイクロサージャリー学会事務局に郵送で提出すること。

(例) 利益相反 なし

利益相反 あり。本試験の試薬は〇〇株式会社の提供を受けた。

2. 論文の採否, 修正

論文の採否は編集委員会で決定し、要すれば書き換え、修正をもとめる。

あるいは、委員会の責任において字句の修正をすることがある。受理した原稿は原則として返却しない。

論文としては採用できる(掲載可になる)内容であっても、本学会誌の範疇に合致しないと委員会で判断された場合は、採用しないことがある。

3. 投稿の方法

1) 日本マイクロサージャリー学会ホームページ (<http://jsrm.umin.jp/>) よりオンライン投稿受付画面に進み、個人ページにログインして投稿する。

ログインID: 会員番号 (MS○○○○○)

パスワード: 生年月日 (西暦, 8桁 例: 19801010)

※生年月日でログインできない場合は事務局 (micro@shunkosha.com) までご一報下さい。

2) 原稿, 図, 表, 写真, 動画などすべてをオンライン投稿システムで提出すること。尚, 原本は投稿者が責任を持って保管しておくこと。

4. 原稿の様式

原稿は下記のファイル形式で保存する。

●本文ファイル: doc, docx

●図表ファイル: doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, jpg, tif

●動画ファイル: avi, mpg, mov, wmv, mp4

5. 原稿の書き方

1) 原稿は, A4 判用紙を使用し, ワードプロを用いダブルスペース, 10.5 ポイントか 12 ポイント文字の横書き, ひらがな, 常用漢字, 新かなづかいを用い, “である”調で執筆する。原稿の下余白中央にページ番号, 左端に行番号をつける。

2) 原稿の内容はマイクロサージャリーならびにこれに関連のある領域とする。

(1) 総説: 編集委員会からの依頼による。

(2) 原著: 基礎的研究, 臨床研究とも独創性に富み, 目的と結論が明確な論文。

(3) 症例報告: マイクロサージャリーに関連のある臨床症例の報告。

(4) その他: マイクロサージャリーに関連する新しい医療技術やノウハウ, システムの構築や方法論, 教育などに関わるもの。

なお, 論文の区分は原則として編集委員会が行うが, 特別に希望のある場合はその旨を明記すること。

3) 論文は第1ページ表紙に和文タイトル, 和文著者名と所属, 英文タイトル, 英文による著者名と所属, キーワード(英文で5つ以内, 和文は用語集に含まれる語を基本とする), 第2ページに英文アブストラクト(ダブルスペース 150~200語まで), 第3ページ以降に序文, 方法, 結果, 考察(考案), 謝辞, 文献の順に記述する。

4) 論文の長さは, およそ下記制限内とする。1ページは刷り上り 1,600語を目安とする。図は1ページに6枚, 表は1ページに1枚の計算となる。(但し, 出来上り 8頁以上は有料となる)。

原著, 総説……………8ページ以内

症例報告……………6ページ以内

その他……………6ページ以内

特別講演, シンポ, パネルなど……編集委員会の依頼による。

5) 数字はアラビア数字を用い, 度量衡の単位は m, cm, mm, μm : kg, g, mg, μg : day, h, min: l, dl, ml などとする。

6) 図(写真)表の最低解像度は1つあたり 300dpi とし, 容量は1ファイル 10MB までを目安に作成する。記載順は本文挿入順とし, それぞれ図1, 図2, あるいは表1, 表2のように番号をつける。図表タイトル, 説明文は最終ページにまとめる。

7) 動画は1ファイル 50MB までとし, 3ファイルまで掲載できる。動画の修正, 形式の変換等については著者が行う。また, 画像の不正なコピーを防ぐために, 画像の一部に「学会誌名」あるいは「論文タイトル」などを入れる事が好ましい。

8) 外国人名, 地名, 薬品名および和訳しにくい用語以外は日本語を用いる。年号は西暦にする。

9) 文献の配列は引用順とし, 本文中の引用箇所には肩番号を付ける。著者が3名までは全員, 4名以上のときは3名までを書き, 以降は「ほか」または「et al」を付ける。また本文中に著者の名を出して文献を引用する際には, 1名の場合: 玉井¹⁾, 2名: 野崎・平林⁵⁾, Nozaki & Hirabayashi⁵⁾, 3名以上: 生田ら¹⁾ とする。

10) 文献の書き方

a. 雑誌

著者名: 表題名 雑誌名 巻: 頁(初め—終り) 発行年(西暦) 英文は半角にする。

(例) 山本有平, 坂村律生, 杉原平樹, ほか: 骨盤部悪性骨軟部腫瘍切除後再建の経験. 日本マイクロ会誌 9: 164-170, 1996

Park C, Lineaweaver WC, Rumly TO, et al: Arterial supply of the anterior ear. Plast Reconstr Surg 90: 38-44, 1992

b. 単行本

著者名：書名（版数） 頁 発行所 発行地 発行年
（西暦）

（例）生田義和：微小外科（初版）. pp280-285, 南江堂
東京 1977

Harii K : Microvascular Tissue Transfer. pp220-230,
Igakushoin, Tokyo 1983

c. 分担執筆

著者名：題名 書名（版数） 編集者名（編） 巻 頁 発行所 発行地 発行年（西暦）

（例）玉井 進：マイクロサージャリー，標準整形外科学（第5版）（広畑和志 監修，寺山和雄，辻陽雄 編集），pp177-185, 医学書院，東京 1998

Millesi H : Fascicular nerve arrangement. Textbook of Microsurgery (Brunelli G ed.), pp563-565, Masson, Milano, 1988

- 11) 英文アブストラクト（150～200語）は、英語を母国語とする者の校閲を受けること。
- 12) 他文献からの引用（引用改変，転載）は著者の責任において一次出版著作権者の許諾を得，編集委員会に許諾書を提出する。論文には出典を明示すること。
- 13) 校正は著者の責任で行うこと。

6. 掲載費

- 1) 掲載論文は出来上がり8頁迄は無料とするが，それ以上は超過1頁につき8,000円の著者負担とする。ただし，編集委員会依頼論文（総説，特集）は無料とする。
- 2) 別冊は作成しない、必要な場合は直接編集事務局に申し込む。
- 3) 特急掲載は1頁につき8,000円の著者負担とする。

7. 投稿規定の変更

以上の投稿規定は、編集委員会の責任において必要に応じて変更することがある。

（平成23年11月11日改正）

（平成27年11月25日一部改正）

（平成28年11月16日一部改正）

（平成29年12月6日一部改正）

（平成30年12月5日一部改正）

（令和3年3月25日一部改正）

（令和3年7月5日一部改正）

（令和4年4月1日一部改正）

（令和7年3月17日一部改正）

8. 問い合わせ先

株式会社春恒社 内

日本マイクロサージャリー学会誌編集事務局

E-mail : micro-j@shunkosha.com

編集委員長：善家雄吉

編集委員：秋田新介，安倍吉郎，池口良輔，大河内真之，大島純弥，太田英之，岡田充弘，鍛冶大祐，加地良雄，加藤久和，楠原廣久，権太浩一，下江隆司，菅沼省吾，素輪善弘，高木誠司，竹村宜記，津下 到，坪根 徹，林 洸太，原 龍哉，藤澤 興，松本 洋，八木俊路朗，安永能周，矢野智之，山内大輔，山口幸之助，湯川昌広